

③ 十和田市の桜まつり

④ 十和田市官庁街通り こまかいどう 駒街道

⑤ 『日本の道百選』に選ばれた長さ1.1km、⑥

幅36mの官庁通りに、156本の桜と165本の松の並木道が続く。歩道両側では、「駒の里」十和田市にちなんだ馬のオブジェや十和田市現代美術館を中心としたさまざまな現代アート作品が、桜を際立たせる。

また、きらびやかな衣装をまとって走り抜ける「桜流鏝馬」やライトアップされた幻想的な



夜桜もおすすめであります。十和田市官庁街通り（駒街道）は青森県内3位の人気の高いお花見スポットで、例年の見頃は4月中旬～5月上旬。



⑧ 世界で十和田だけ！女性騎士の祭典

⑨ 日本各地で行われている流鏝馬（やぶさめ）は、その殆どが奉納神事であるため、女性が行うことは叶いません。一方で和式馬術に憧れる女性も多く、競技としての流鏝馬を愛好する人が急増しています。桜流鏝馬は、女性だけが出場できる日本で唯一の大会です。桜並木の下を華麗な乙女たちが次々と疾

走していく美しい光景は、見る人を魅了してやみません。馬は和種（日本の馬）。そして馬が駆け抜ける鉄砲馬場（やぶさめの走路）は満開の桜並



木の下。桜流鏝馬に出場する選手たちの衣装はすべて、十和田乗馬倶楽部で制作しています。選手一人ひとりの要望を聞き入れながら作る個性と華麗さを持ち合わせた衣装は、和の要素を残しつつも、機能性や女性のための心遣いを数多く取り入れたデザインとなっています。

⑪

1の的



2の的



3の的



鉄砲馬場

「1の的」から「3の的」までのタイムを競い合う。

⑫

十和田市現代美術館

⑬ 美術館コンセプト

- ⑭ 十和田市現代美術館は「アートを通じた新しい体験を提供する開かれた施設」として、Arts Towada 計画の中核となる施設です。

⑮



ここ十和田でしかみることができない38点の恒久設置作品が展示されている常設展は、草間彌生¹、ロン・ミュエクなど世界で活躍する33組のアーティストによるコミッションワークにより構成されています。

また常設展スペースのほか、文化芸術活動の支援や交流を促進する拠点として、企画展スペース、市民活動スペースなど、多様な機能を持ちます。

美術館の特徴は、個々の展示室を、「アートのための家」として独立させ、敷地内に建物を分

散して配置し、それらをガラスの廊下でつなげていることです。

各展示室を独立配置させることで、それぞれのアート作品にあわせて建築空間をつくることができ、両者がより密接な関係を結ぶことができます。この分散型の構成は、広場と建物が交互に並ぶ官公庁通りの特徴から着想を得ており、アート作品と都市が有機的に混ざり合います。

そして、建物に大小のボリュームをつくることで、大小の建物が並ぶ通りの景観と連続性を持たせています。さらにこの分散配置は、屋外展示スペースやイベントスペースを生み出し、来訪者は屋内空間と屋外空間を同時に体験することができます。

⑯ <十和田市現代美術館 地図>

⑰



⑱

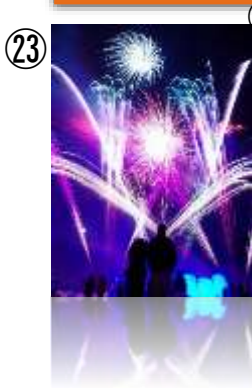
所在地：〒034-0082 青森県十和田市西二番町10-9
TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138
開館時間：9：00～17：00（最終入館16：30）

¹ 幼い頃から悩まされていた幻覚や幻聴から逃れるために、それらの幻覚・幻聴を絵にし始めた。

⑬ 十和田湖冬物語 ⑭



21 冬季観光の振興 冬の祭典



②② 極寒の十和田湖で開催される北東北最大級の雪まつり。冬の一大イベント。青色LEDを使ったトンネルや雪と光のゲート、雪灯籠（スノーランプ）、乙女の像のライトアップなど、幻想的な冬の湖畔を舞台に24日間にわたって繰り広げられます。期間中毎日打ち上げられる「冬花火」（20時～）、氷のグラスでカクテルが楽しめる「かまくらBAR」、秋田・青森両県の郷土料理などが楽しめる「ゆきあかり横丁」他、ステージ企画も満載。

②4	所在地	〒018-5511 秋田県鹿角郡小坂町十和田湖字休平
	問合せ先	十和田湖冬物語実行委員会 TEL 0176-75-2425
	営業時間	開催 2020年1月24日～2月24日 17:00～21:00
	アクセス	・東北道小坂ICから車で45分35km ・十和田湖南駅からタクシーで50分
	料金	無料
	開催地	十和田湖休屋



26 イベント情報



メインエリア（冬花火、大雪像ライトアップ）



光のエリア（光のゲート&トンネル、さくらのツリー）



アクティビティエリア（スノーバナナボート、冬“自転車”物語）



食のエリア（雪あかり横丁、かまくらBAR）